

港湾振興便り



2026. 8
第231号

:

目 次

*:**

1 ポートエッセイ ― 産地ツーリズム ―

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

- 稚内港北防波堤ドーム竣工 90 周年記念フェスタを開催しました

(稚内市 建設産業部 港湾空港課)

- 八甲田丸港フェスタ2026

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

- 「豊橋みなとフェスティバル」にて海洋環境整備船「白龍」を公開！

(中部地方整備局 名古屋港湾事務所)

- 神戸港ポート天国で海洋環境整備船を一般公開しました！

(近畿地方整備局 神戸港湾事務所)

3 お知らせ

◇ 北陸のくらしを支えるみなと 講演会 2026

:

1 ポートエッセイ ― 産地ツーリズム ―

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

*:

先般、2025年度の新潟県産農林水産物の輸出額が過去最高を更新したとの報道があった。このうち、「錦鯉」と「米」が輸出額の99%を占めたという。

ご存じのとおり、新潟は日本有数の米どころであり、米は新潟を代表する特産品である。近年は世界的な日本食ブームを背景に海外での需要が拡大し、アメリカや香港、シンガポールをはじめとする多様な地域で、新潟米のブランド価値が高まっている。

一方で、輸出総額の約7割を占めるのが「錦鯉」である。新潟県産農林水産物の中でも際立った輸出品であり、世界に誇る地域資源と言える。先月紹介した「2026 JCI ASPAC 新潟大会」のシンボルマークにも錦鯉が鮮やかにデザインされ、会場では水槽で優雅に泳ぐ錦鯉が多くの来場者を魅了していた。

錦鯉は、新潟県小千谷市や長岡市山古志地域を中心とする地域が発祥の地とされている。江戸時代、食用として飼育されていたマゴイの突然変異を大切に育てたことが始まりとされ、その美しさは時代を超えて受け継がれてきた。

今では欧米やアジアをはじめ世界各地で「NISHIKIGOI」として親しまれ、「泳ぐ芸術品」と称されるほど高い評価を得ている。

世界の富裕層を魅了する高級観賞魚として市場を広げる一方、海外のバイヤーや愛好家が新潟を訪れ、養鯉場を巡る「産地ツーリズム」にも注目が集まっている。

産地ツーリズムは、生産現場そのものを観光資源として活用し、体験や交流、学びを通じて地域ブランドの確立と地域経済の活性化につなげる取り組みである。農業や水産業、伝統工芸、食文化など幅広い分野で世界的に広がり、地域振興の重要な柱となっている。

新潟には、小千谷・山古志の錦鯉、佐渡の豊かな自然と伝統芸能、そして新潟平野が育む米や酒など、世界に誇れる地域資源が数多くある。それらの「本物」を現地で体験する旅には、大きな可能性が秘められている。

そして、その産地ツーリズムを支える役割を担うのが新潟市である。新潟空港や新潟駅を起点とした県内各地へのゲートウェイ機能を備え、宿泊や食、買い物など都市ならではの魅力を提供できる高いポテンシャルを有している。

モノを所有することよりも、体験や学びに価値を見いだす「コト消費」への関心が高まっている今日、各地の地域資源の魅力を積極的に発信していくことが大切である。

:

2 トピックス

*::~

●稚内港北防波堤ドーム竣工 90 周年記念フェスタを開催しました

(稚内市 建設産業部 港湾空港課)

今年で竣工 90周年を迎える稚内市のシンボル「稚内港北防波堤ドーム」を記念し、7月11日(土)に『稚内港北防波堤ドーム竣工 90 周年記念フェスタ』を開催いたしました。

当日はあいにくの天候となりましたが、市内外から多くの皆様にご来場いただき、会場は大賑わいとなりました。

ステージでは、スペシャルゲストをお迎えした「WAKKANAI みなとコンサート」を開催したほか、食のイベントとして過去に同会場で行っていた「大鍋グルメバトル」の復刻、道内の Sea 級グルメが集結する「北海道 Sea 級グルメ大集合」を実施し、音楽も食も楽しめるイベントとして、多くの方に楽しんでいただきました。

さらに、宗谷本線全線開通100周年と連携して、特急乗客者向けにノベルティの配布や同会場ではオリジナル缶バッジの配布、制服の着用体験等を行う JR ブースを設置し大変好評でした。

また、警察車両や自衛隊車両等の展示を行う「はたらく車見学会」や海上保安庁による「巡視船りしり」の一般公開、夜にはドームのライトアップを行うなど、昼夜を問わず見どころの多いイベントとなりました。



▲スペシャルゲストのステージ披露▲



▲会場の様子▲

●八甲田丸港フェスタ2026

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

7月11日(土)に「八甲田丸港フェスタ2026」が青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸で開催されました。八甲田丸港フェスタは、青森港と青函連絡船「八甲田丸」の魅力を多くの人に知っていただき、港ににぎわいを生み出すことを目的として、毎年7月中旬に開催されています。

当事務所のブースでは、パネルや液状化体験コーナーを設置し、来場者に当事務所が実施している港湾事業の内容や地震による液状化現象について理解を深めていただきました。

今年度は、天候不良の影響で、12日(日)のイベントは中止となってしまいましたが、11日(土)には港湾業務艇「つがる」による体験航海を実施し、雨模様の中、普段見ることができない海上からの青森港の様子をご覧頂くことができ、親子連れなど多くの方に青森港の魅力についてPRすることができました。

【U R L】 <https://www.pa.thr.mlit.go.jp/aomori/160/R8/260710/20260710.html>



ブース出展の様子



液状化体験コーナーの様子



体験航海の様子



港湾業務艇「つがる」への乗船の様子

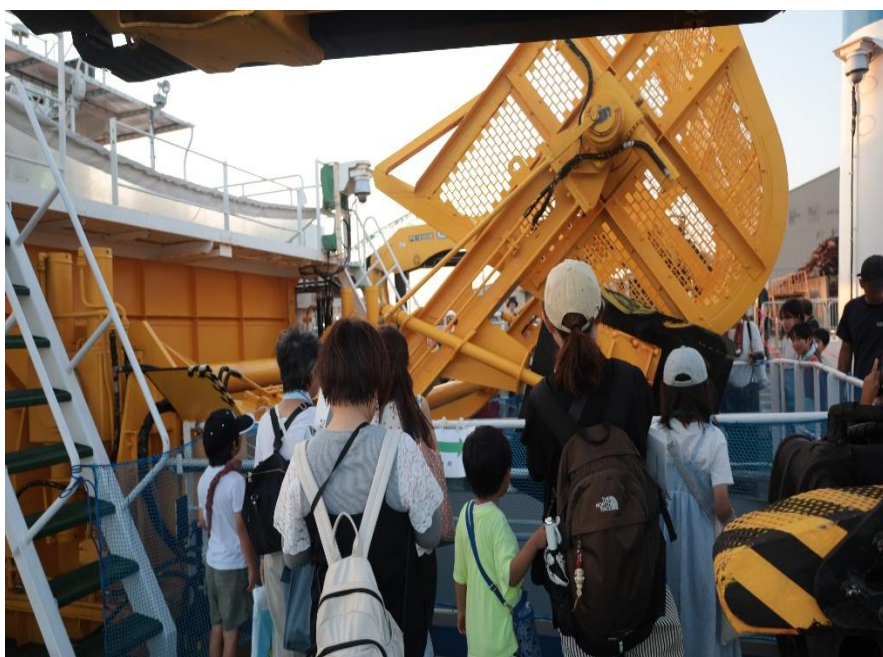
●「豊橋みなとフェスティバル」にて海洋環境整備船「白龍」を公開！

(中部地方整備局 名古屋港湾事務所)

7月20日(月)に開催された「豊橋みなとフェスティバル」で、海洋環境整備船「白龍」の一般公開を行いました。当日は578名の方々にご見学いただき、普段は見ることのできない船内設備や「白龍」の役割について紹介しました。見学を通じて、多くの方に「白龍」の活動への理解を深めていただく機会となりました。



白龍へ乗船の様子



設備見学の様子

●神戸港ポート天国で海洋環境整備船を一般公開しました！

(近畿地方整備局 神戸港湾事務所)

令和8年7月20日、神戸港のメリケンパークと周辺海域で開催された「ポート天国」において、神戸港湾事務所では海洋環境整備船「Dr. 海洋」の船内一般公開を行いました。

「ポート天国」は、都心部に近い水域で、海洋レジャーを気軽に楽しめる場所を提供することにより、港や海・船への親しみを深め、海洋スポーツの振興と海事思想の普及、海難事故の防止にも寄与することを目的としたイベントで、1990年から開催され、今回で42回目を数えます(複数回開催年度あり)。

「Dr. 海洋」には822人もの見学者が訪れ、事務所職員が広報用パンフレットの配布や展示ブースでのパネル説明などで事業PRを行いました。



会場風景



一般公開の様子



展示パネルの説明状況



クイズ形式でみなとの広報活動を実施

3 お知らせ(みなとのイベント情報)

[illegible]